メータオ・クリニック支援の会（ＪＡＭ）
会報メール　第 128 号
〔2021 年 10 月発行〕

ＮＰＯ法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。
JAM より、2021 年 10 月号の会報をお送りします。

JAM は 2008 年 3 月に発足された NGO です。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。
支援者の皆様へ JAM の最新の活動を２カ月に一度、会報メールにて発信いたします。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

＜目次＞

現地（メソト）から

国内から

グローバルフェスタ JAPAN 2021 に出展！

編集後記

次号の予定

現地（メソト）から

【日本：有高】

新型コロナウイルス感染症蔓延に伴うタイのビザ規制のため、相変わらず日本在住の現地派遣員、有高です。

日本では大きな犠牲を出した第 5 波がようやく収束し、タイでも新規感染者数は連日 2 万人を超えた 8 月、9 月に比べ、10 月中旬現在、1 万人程度まで減少してきました。メータオ・クリニックのあるメソトでも 6 月末からアウトブレイクが起き、8 月は 100～150 人の新規感染者が発生していましたが、現在は 50～80 人に半減しました。

前回の会報でもお伝えした通り、メータオ・クリニックはアウトブレイクの初期からタイ政府公認の野戦病院として、無症状かつ重症化リスクのないミャンマー人感染者の診療を引き受けてきました。その過程で 7 月中旬に発生した院内感染は、9 月末までにクリニックスタッフ 116 人、スタッフ家族 110 人、近隣住民 85 人、患者 109 人に拡大しました。7 月 15 日から患者受け入れを中止し、クリニックを挙げて感染者の治療、隔離に注力した結果、8 月上旬には感染が収束に向かい始めました。そのため感染予防ガイドラインの改定、その遵守をモニターするための仕組みづくりなどを行ったうえで、8 月中旬から緊急性・必要度の高い産科病棟、ワクチン接種外来、産科外来、HIV 診療を含む内科外来の順に業務を再開しています。またコロナ感染症に罹患し回復したスタッフに対して、復職前に後遺症に関するスクリーニングを行い、健康状態を評価しています。

［メータオ・クリニックでのコロナワクチン接種］

正常化しつつある本来の業務に加えて、メータオ・クリニックは基幹公立病院であるメソト病院と連携して“local COVID-19 control committee” を結成、軽症者・無症状者の自宅や地域施設での隔離システムの構築、そこでの療養ガイドラインの作成を行い、病床逼迫の軽減、感染拡大の予防に努めています。メソトに隣接する Tha Sai Luat 地区では患者の経過観察、増悪時の搬送のみならず、診断のための検査、医療廃棄物の管理、食料援助も行い、遠隔地域の人々の健康を守る上で大きな役割を果たしています。そしてもうひとつ重要な任務として、メータオ･クリニックはタイにおけるコロナワクチン接種プログラムの一翼を担い、ミャンマーコミュニティへのワクチン接種を開始しました。手始めにクリニック及び関連団体のスタッフ、近隣住民のうちハイリスク者への接種がクリニックで行われ、すでに 500 人以上が接種を受けました。クリニックはコロナ禍により大きな試練を経験していますが、それを糧に感染対策の改善やコミュニティへの新しいサービスの提供など、確実に歩みを続けています。

［ワクチン外来での子供の疾病予防活動］

一方ミャンマーでは 6 月～8 月に猖獗を極めたコロナ感染症こそ落ち着いてきましたが、各地で国軍による攻撃や人民防衛軍 People Defense Force との衝突が続き、カレンニー州などでは今も新規の国内避難民が発生しています。また長引く不服従運動や経済の混乱により、経済的に困窮する市民がますます増加していると報じられています。メータオ・クリニック

は今回のクーデター前の 2015 年から、カレン保健福祉部門（Karen Department of Health and Welfare, KDHW）、バックパックヘルスワーカーチーム（Back Pack Health Worker Team, BPHWT）、ビルマ医師会（Burma Medical Association, BMA）、カレンニー市民保健開発ネットワーク（Civil Health and Development Network - Karenni, CHDN）、モン民族保健委員会（Mon National Health Committee, MNHC)、パオ保健作業委員会（Pa’Oh Health Working Committee, PHWC）、シャン州開発財団（Shan State Development Foundation, SSDF）、Loi Tai Li 保健委員会（Loi Tai Li Health Committee)の 8 つの各民族医療団体と民族保健システム強化グループ（Ethnic Health System Strengthening Group, EHSSG)を結成し、カレン州、カレンニー州、シャン州、モン州、東バゴー地域、タニンダリー地域で、少数民族に対し保健増進支援を行ってきました。現在もそれらのエリアの国内避難民に対して、食料及び医薬品支援、生活費支援、妊産婦支援など多彩な活動を展開しています。

［カレン州のクリニックでの妊婦の超音波検査］

［カレン州のクリニックでの新生児ケア］

ミャンマー国内ではクーデター以後資金及び物資の流れが寸断されており、各診療所が医薬品や医療用品を入手するのが困難になっているため、EHSSG は 2021 年 3 月から 6 月までにカレン州、カレンニー州、シャン州、東バゴーなどで 34 か所の診療所に緊急医薬品、医療用品を提供しました。各診療所は 5-7 名の医療スタッフからなり、通常は 2,000～2,500 人の住民をカバーしていますが、紛争や国内避難民の発生により多くのエリアで医療需要は急増しています。医療スタッフは診療所での業務のみならず、避難先を訪問するモバイル診療を行

い、できるだけ多くの人に医療を届ける努力を続けています。また外傷に備えて、消毒液、ガーゼ、弾性包帯、ギプスなどからなるファーストエイドキットを配布し、地域のボランティアにそのキットを用いた初期治療を教えるトレーニングも行っています。

また妊産婦ケアも重要な課題で、EHSSG は 3 月から 6 月までに 478 人の妊婦さんに対して助産師による出産介助、 食料及び衛生用品の支援を行いました。カレン州、カレンニー州でジャングルに避難中で診療所や助産師によるケアにアクセスできない妊婦さんに対しては、医療スタッフが避難エリアを訪問して産前ケア、および安全分娩キットを提供しています。安全分娩キットは消毒液、滅菌手袋、臍帯を縛って切断するための清潔な糸と刃、コットン、ガーゼ、おむつ、母子のための衣類、洗剤、そしてマスクからなり、カレン州、カレンニー州以外にモン州やシャン州でも合計 900 キットが配布されました。

［診療所外で分娩せざるを得ない妊婦さんに渡す安全分娩キット］

また産科的理由あるいは鉗創などで重症の患者さんが発生した場合は各民族医療団体のネットワークを駆使して病院に転送するシステムも構築され、現在のミャンマーの状況では極めて困難なことながら、6 月末までに 58 人の患者さんが緊急搬送されました。いずれもジャングルの簡易シェルターで不安な生活を強いられている人々に最低限の安全、自分たちは見捨てられていないという安心を届ける、価値のある活動であると思います。

JAM は 4 月から皆さまに東ミャンマー緊急支援のお願いをし、すでにメータオ・クリニックに送金した 172 万円は上記の活動のうち、主に医薬品及び生活費支援に役立てさせていただきました。8 月、9 月には 5 名の方から 47,780 円のご支援をいただきました。また JAM はこのたび情報産業労働組合連合会様から 500 万円、ものづくり産業労働組合様から 100 万円、全日本自治団体労働組合様から 200 万円のご寄付を頂戴しました。ご支援くださったおひとりおひとりに、心より御礼申し上げます。クーデターから 8 か月を経て国際的な注目度は下火になりがちですが、だからこそ皆様の温かいお気持ち、ご支援は必ずミャンマーの人々の助けになります。使途は今後報告させていただきますが、皆さまと現地の人々を繋ぐお手伝いができることは、我々JAM にとって大きな喜びです。

［カレンニー州の一時的シェルター］

国内から

【日本事務局：田中】

いつもご支援いただき、ありがとうございます。

今回は、最近の私の JAM における活動内容について少しお話しをさせていただこうと思います。

私は、会報の編集作業と、毎年末に支援者の皆様に送付させていただいているカレンダーに関する作業を担当しています。

会報は、現在４名で分担しながら編集～配信作業を行っています。２か月に１回の発行を通して現地の最新トピックスや私たちの活動内容が支援者の皆様にわかりやすく伝えられるよう意識しています。読んでくださっている皆様がどのようなことを知りたいのか等、ご感想やご意見もいただけたらうれしく思います。

カレンダーも、皆様のデスクの上に置いて使ってもらえることを期待して、大きすぎずシンプルなものを選んでいます。来年のカレンダーにつきましては、現在クリニックのスタッフに写真撮影をお願いして準備を進めているところです。例年同様、12 月中に支援者の皆様のお手元にお届けする予定です。ぜひご活用いただければ幸いです。

私は、仕事等で時間帯の都合があわず、なかなか参加できていないのですが、毎月、事務局スタッフによる運営定例会や臨時のミーティングは Zoom を活用し、開催しています。新型コロナウイルスの影響で今までのように大勢で集まることが難しくなりました。また、JAM の運営メンバーは東京だけではなく日本各地、海外にも住んでいます。Zoom を活用することで直接会えなくても、インターネットを通じてできることがたくさん増えたと実感する日々です。

今後とも JAM の活動を応援していただけるよう、力をあわせて尽力していきますのでどうぞよろしくお願いします。そして、事務局メンバーと一緒に活動してみたいという方も随時募集しておりますので、どうぞお気軽にお声がけください。

グローバルフェスタ JAPAN2021 に出展！

いつも当会をご支援くださりありがとうございます。
10/9,10 にグローバルフェスタ JAPAN2021 に出展いたしました。

昨年のグローバルフェスタは中止となり、ミャンマー祭りは 2 年連続で中止でしたので、
JAM としては本当に久しぶりに露出の機会となりました。

今回は例年とは様々な点で違いがありました。

①来場者数上限１日１０００名
②感染対策（手指消毒、検温、マスク徹底）
③出展者スタッフ上限２名

④物販禁止

⑤飲食物の提供・販売禁止

⑥会場が東京国際フォーラム地下ホール

例年の④⑤は世界の面白い雑貨が購入できたり食べ物や飲み物・お酒が味わえたり、⑥は会場が日比谷公園やお台場の広場など開かれた場所で通りすがりの人がフラッと立ち寄ることができたりと、国際協力に関心がない人々が自然にイベントに参加する仕掛けになっていました。今年はこれらが全てありません。。。

当日はフラッと立ち寄ったという方は殆んどいない一方でグロフェスが目的で来場される方が殆んどという印象でした。
これが功を奏してかメータオ・クリニックや JAM の活動を知らなかったという方の多くが熱心に説明を聴いてくださり、今後も関心を寄せてくださるという方に多く出会うことができたと思います。

当日お越しくださった皆様、賛助会員様ならび関係者の皆様、JAM メンバー、大変ありがとうございました。

今後も引き続きよろしくお願いいたします。

展示したパネルの一部です。会場では報道写真家 渋谷敦志さん、難民画家 マウンマウンティンさんの絵を展示させていただいております。機会がございましたら次回のイベント時にご覧ください。

メータオ・クリニックとは

メータオ・クリニックは1989年、タイ北西部に位置する国境の街メーソットに設立されました。設立以来、軍事政権による迫害・弾圧などによってタイに逃れて来たミャンマーの人々、貧困により国内では医療を受けられないミャンマーの人々のために必要な医療を提供し続けてきました。

患者さんの半数は貧困などによりミャンマー国内で医療を受けられず国境を越える人、もう半数はタイ国内に住む移民や難民です。
メータオ・クリニックは支援者からの寄付によって運営されており、人々は無料で医療を受けることができます。

ミャンマー国内では未だに、診療費・検査費・薬剤費用・手術費など医療費の大部分に自己負担が求められ、貧困にあえぐ多くの人々は病院にかかることすらできません。
そんな彼らの命に寄り添い、唯一の医療の場を提供しているのがメータオ・クリニックです。

メータオ・クリニックでは、タイ国内のミャンマー移民・難民の子ども達の学校や孤児院の運営、HIV/AIDSの予防啓発や、保健教育など、多岐にわたる活動を実施し、30年の長きに渡って国境に住む人々の生活を支え続けています。

メータオ・クリニックが提供しているサービス
・医療サービス
内科、外科、小児科、歯科、眼科、産婦人科、検査、献血、義足の作成など
・社会サービス
カウンセリング、出生証明書発行、学校・孤児院運営、長期入院患者ケア、死亡患者の葬儀など移民へのヘルスケア: 学校保健、思春期性教育、HIV/AIDS患者訪問ケアなど

設立者のシンシア・マウン医師について

メータオ・クリニック院長のシンシア・マウン医師は、ミャンマーの少数民族カレン族出身の医師です。

1988年のビルマ民主化運動の際、軍事政権から弾圧を受けていた学生達とともに民主化を訴え、自らも難民として国境に流れ着きました。シンシア医師は7名の学生達とともに、軍事政権によって医療にアクセス出来ない人々や、貧困に苦しむ人々を助けたいとメータオ・クリニックを設立しました。

1989年以来、増大する移民・難民と、ニーズの多様化に合わせて必要なサービスを提供し、ミャンマー難民の命に寄り添い続けてきました。

シンシア医師は、その功績により2002年にアジアのノーベル平和賞と言われるラーマン・マグサイサイ賞を受賞したほか、2005年にはノーベル平和賞にもノミネートされています。

1999 - John Humphrey Freedom Award
1999 - American Women's Medical Association President's Award
1999 - Jonathon Mann Health and Human Rights Award
2001 - Van Heuven Goedhart Award
2001 - Foundation for Human Rights in Asia Special Award
2002 - Magsaysay Award for community leadership
2005 - Included in Time Magazine's November Article on 18 Global Health Heroes
2005 - The Eighth Global Concern for Human Life Award
2005 - Unsung Heroes of Compassion Award from the Dalai Lama and Wisdom in Action
2005 - Nominated as part of the 1,000 Women Nobel Peace Prize Nomination
2007 - World's Children's Prize for the Rights of the Child Honorary Award (Children's World Association, Sweden)
2007 - Asia Democracy and Human Rights Award (Taiwan Foundation for Democracy)
2008 - Catalonia International Prize along with Daw Aung San Suu Kyi
2009 - Inspiration Model Award from "Khon Khon Khon", Thai Television Programme
2012 - National Endowment for Democracy's 2012 Democracy Award
2013 - Sydney Peace Prize
2018 - Roux Prize
2018 - UNDP's N-Peace Award

Cynthia Maung (21 July 2019, at 03:34 UTC).In Wikipedia: The Free Encyclopedia. Retrieved from https://en.wikipedia.org/wiki/Cynthia_Maung

メータオ・クリニック支援の会（JAM）とは

わたしたちのミッション（使命）

母国のミャンマー、庇護国のタイでも最低限の保健医療が満たされないミャンマー難民、移民。

メータオ・クリニック支援の会は彼らの権利と幸福を守るため、メータオ・クリニックと
クリニックを応援する世界の支援者とともに、医療支援と保健活動を行います。

わたしたちのビジョン（理念）

メータオ・クリニック支援の会は、ミャンマー難民が安心して健やかに暮らせる日が訪れるまで、
命を守る医療を、健康を守る保健を彼らに寄り添いながら継続していきます。

わたしたちが大切にすること

1.公平な支援
国籍・宗教・民族・政治的立場に関わらず、求めるひと全てを支援します。

2. 続けられる支援
現地の人を中心とした続けられる支援を行います。

3. 迅速な支援
いち早く現地の状況を知り、必要な支援を、必要な時に、必要なひとへ届けます。

4. 協力した支援
タイ／ミャンマー国境で支援活動を行う国際NGOや地元組織、日本国内で活動する他団体と協力した支援を行います。

5. つなげる支援
日本から支援する窓口としてメータオ・クリニックと日本をつなげます。

医療人材派遣と技術支援

メータオ・クリニック支援の会では、医療従事者を現地へ派遣し、病棟勤務を通じて専門分野を活かした技術支援や、院内感染予防対策を中心とした施設・設備の改善をおこなっています。

派遣員の任期は1~2年間、これまでに7名の医療従事者を派遣してきました。クリニックスタッフとともに働く中で課題を見つけ、それぞれの得意分野を生かしながら様々な活動に取り組んでいます。

院内感染対策と啓発活動

クリニックを訪れる患者さんは、赤ちゃんから年配の方まで様々な疾患を持ち、感染症をうつされやすい状態の方が多くいます。

派遣員は、院内感染対策チームにアドバイザーとして参加し、手洗い環境の整備や手拭きタオルの導入、ワークショップやポスター掲示による手指衛生活動、滅菌管理の向上、感染対策物品の提供、院内外の環境衛生活動など、現場の必要にそくした活動を行っています。

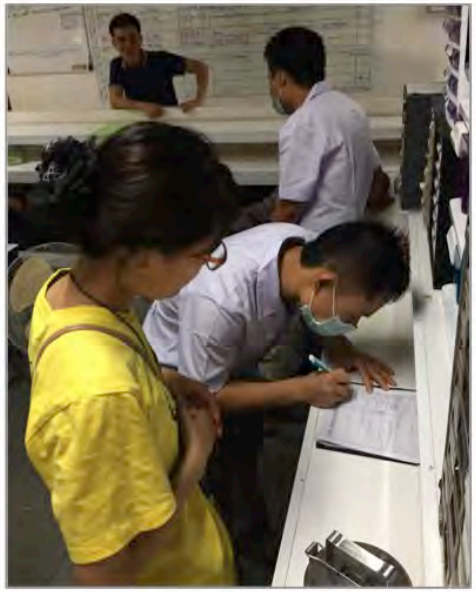
Japan Association for Mae Tao Clinic

看護スタッフ育成研修

清潔ケア実技指導・実技チェックリスト作成・引継ぎ指導・各種備品の使用方法など、看護に関する知識や技術の研修を通して看護実践能力向上の支援をしています。

また、褥瘡(じょくそう＝床ずれ)予防マットレス・備品整理棚の導入など、看護サービスを行う上で必要な物資の支援を行っています。

Japan Association for Mae Tao Clinic



移民学校での保健活動

学校保健チームとともに移民学校にて、半年毎のビタミンA投与・害虫駆除剤の投与・眼科検診・健康教育、学校の先生に対して衛生に関する啓蒙活動・児童の急変時の看護および処置等のトレーニングを実施しています。

さらに学校保健プロジェクトとして実施している学校保健評価と優秀校の表彰は、学校保健改善の動機づけになっています。

学生のメンタルヘルス活動としてサッカーや音楽授業などの課外活動の充実に取り組んでいます。タイ学校と移民学校の合同演奏会は、精神的ケアの一環としてだけでなく、移民学校のタイ社会への融合という点において、大きな架け橋となっています。

スタディーツアーの実施

メータオ・クリニック訪問、移民学校訪問、難民キャンプ訪問など、クリニックと難民・移民の状況を知る機会を提供しています。

メータオ・クリニック代表のシンシア医師だけでなく、クリニックや移民学校で働くスタッフたちや患者さん・子どもたちとも触れ合い、国境の現状を肌で感じて頂けるツアーです。

現地ではJAMスタッフが同行しますので、安心してご参加頂けます。

Japan Association for Mae Tao Clinic

Jam

MAE TAO CLINIC

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

編集後記

ミャンマーでは、国内各地で武力衝突が続いています。ミャンマー人の医師の友達は、こんな風に打ち明けてくれました。「戦争なんてない方が良いに決まってる。でも今はそれが唯一の希望」。彼女は民主派の戦闘員を支援するために寄付をしています。同時に、ヤンゴンから国境地帯に医薬品をせっせと送っています。戦闘を支援しつつ、人命を助けようとする姿は、一見矛盾しているように見えます。でもこれはどちらも、よりよい未来への切なる願い。こうした祈りが、人々が望む未来を照らす光になるよう願ってやみません。（ミャンマー在住　N）

戦闘員の宿舎に届けられた応急処置セット↑

次号の予定

次号は、12 月下旬ごろ配信の予定です。

最新情報は、インスタ、ツイッター、ホームページでも、随時更新していきますのでぜひ、お時間があるときにご覧ください。

メータオ・クリニック支援の会(JAM)の活動を支援して下さり、心より御礼を申し上げます。JAM の活動は皆さまからの温かい寄付によって支えられ、院内感染予防活動、移民学校での啓発活動など様々なプロジェクト・設備投資を実施しています。
支援の輪が広がっていけるよう、どうぞ当会の Facebook もフォローして「いいね」や「リツイート」で応援してください。

当会では、都度の支援金の受け入れとともに、「1 日 10 円からの支援」を基本とし、継続的なご支援をお願いする賛助会員制度を用意しております。
【一般会員】3,650 円/年　　【学生会員】1,825 円/年　　【法人会員】36,500 円/年
当会ホームページにアクセスしていただき、お申し込みフォームから会員登録のうえ、指定の口座へのお振込をしていただきますと、賛助会員として登録させていただきます。詳しく

は当会ホームページをご覧ください。

◇◆◇

ＮＰＯ法人メータオ・クリニック支援の会
Japan Association for Mae Tao Clinic（JAM）

日本事務局宛て **E** メール	support@japanmaetao.org
JAM ウェブサイト	www.japanmaetao.org
Facebook	Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)　で検索して下さい。 https://www.facebook.com/JapanAssociationforMaeTaoClinic/
Instagram	https://www.instagram.com/japan_association_maetaoclinic/
Twitter	https://twitter.com/japanmaetao

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。

◇◆◇